

**第68回全日本実業団バドミントン選手権 山口大会出場割当**

平成30年 2月18日  
日本実業団バドミントン連盟

**[1] 出場割当数**

地区 ブロック	支部名	H29年度 登録数	出場割当数		
			基本数	追加数	合計
北海道	北海道	21	1	3	4
東北 8 29	青森	1	1	0	1
	岩手	2	1	0	1
	宮城	19	1	2	3
	秋田	1	1	0	1
	山形	1	1	0	1
	福島	5	1	0	1
	関東 30 162	茨城	7	1	1
栃木		9	1	1	2
群馬		5	1	0	1
埼玉		14	1	2	3
千葉		8	1	1	2
東京		77	1	11	12
神奈川		42	1	6	7
山梨		登録無	1	0	1
北信越 11 51	新潟	14	1	2	3
	長野	2	1	0	1
	富山	16	1	2	3
	石川	12	1	1	2
	福井	7	1	1	2
東海 11 57	静岡	1	1	0	1
	愛知	32	1	4	5
	三重	21	1	3	4
	岐阜	3	1	0	1

地区 ブロック	支部名	H29年度 登録数	出場割当数		
			基本数	追加数	合計
近畿 16 81	滋賀	登録無	1	0	1
	京都	17	1	2	3
	大阪	43	1	6	7
	兵庫	21	1	3	4
	奈良	登録無	1	0	1
	和歌山	登録無	1	0	1
	中国 9 36	鳥取	2	1	0
島根		1	1	0	1
岡山		11	1	1	2
広島		14	1	2	3
山口		8	1	1	2
四国 6 23	香川	12	1	1	2
	徳島	1	1	0	1
	愛媛	9	1	1	2
	高知	1	1	0	1
九州 11 26	福岡	21	1	3	4
	佐賀	登録無	1	0	1
	長崎	2	1	0	1
	熊本	1	1	0	1
	大分	登録無	1	0	1
	宮崎	登録無	1	0	1
	鹿児島	1	1	0	1
	沖縄	1	1	0	1
総合計		0	47	60	107

(注1) H29年度登録数は、H30年1月21日現在

(注2) 出場割当数は、日本実業団バドミントン連盟規約細則による。

(注3) 男子と女子の割当数は、同数とする。

(注4) 各地区ブロックには、右の特別枠(男女共)を割り当てる。

(注5) 開催地ブロックは、特別割当数とする。

**[2] 地区ブロック特別枠**

北海道	4	東海	8	九州	5
東北	4	近畿	12	合計	74
関東	25	中国	6		
北信越	6	四国	4		

**[2] 推薦チーム(67回秋田大会)**

**【男子の部】**

- 優勝 日本ユニシス(東京都)
- 準優勝 トナミ運輸(富山県)
- 3位 日立情報通信エンジニアリング(神奈川県)
- 3位 金沢学院クラブ(石川県)
- ベスト8 大同特殊鋼(愛知県)
- ベスト8 三菱自動車京都(京都府)
- ベスト8 NTT東日本(東京都)
- ベスト8 宇部興産(山口県)
- ベスト16 東北マークス(宮城県)
- ベスト16 東海興業(愛知県)
- ベスト16 JR北海道(北海道)
- ベスト16 セーレン(福井県)
- ベスト16 VERTEX(新潟県)
- ベスト16 グッドウェーブ鹿児島
- ベスト16 トヨタ自動車九州(福岡県)
- ベスト16 AC長野パルセイロ(長野県)

**【女子の部】**

- 優勝 日本ユニシス(東京都)
- 準優勝 北都銀行(秋田県)
- 3位 NTT東日本(東京都)
- 3位 再春館製薬所(熊本県)
- ベスト8 岐阜トリッキーパンダース(岐阜県)
- ベスト8 広島ガス(広島県)
- ベスト8 ヨネックス(東京都)
- ベスト8 七十七銀行(宮城県)
- ベスト16 Cheerful鳥取(鳥取県)
- ベスト16 三菱電機(兵庫県)
- ベスト16 トヨタ自動車(愛知県)
- ベスト16 西日本シティ銀行(福岡県)
- ベスト16 日立化成(茨城県)
- ベスト16 ACT SAIKYO(山口県)
- ベスト16 PLENTY GLOBAL LINX(大阪府)
- ベスト16 富山県選抜(富山県)